第16巻　第７号
発行日　令和２年１１月25日

長崎県立長崎北高等学校

長崎北高ＮＥＷＳ　１１月号

ハイライト：　防災避難訓練　、薬物乱用防止講話
：　部活動・大会等の結果報告

ホームページもご覧ください。
http://www.news.ed.jp/kita-h/

１２月の行事予定

日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	火	外務省 高校講座① 消費者教育①	16	水	図書ボランティア
2	水	総探フィールドワーク①	17	木	ＳＣ来校
3	木	未来人財セミナー①	18	金	
4	金	消費者教育①	19	土	プレマーク③ 県一斉①②
5	土	特別授業①③ 小論模試③	20	日	プレマーク③
6	日		21	月	
7	月		22	火	
8	火	進路講演会②	23	水	
9	水		24	木	終業式
10	木	総探フィールドワーク②	25	金	特別授業①②③ 保護者面談②
11	金		26	土	特別授業③
12	土	特別授業①②③ 小論模試②	27	日	特別授業③
13	日		28	月	特別授業①②③ 保護者面談② 小論模試①
14	月		29	火	プレマーク③
15	火	総探フィールドワーク②	30	水	プレマーク③
			31	木	

修学旅行②
保護者面談②
保護者面談②
保護者面談①③
保護者面談①③

北高の児等へ

「自分の言葉」

教頭　長池　一徳

先日参加した研修会の講師が、「現代人のコミュニケーション能力が欠如している原因はスマホです！」と断言したのに驚きました。ＳＮＳで人と連絡を取り合う生活には不可欠なのに。講師の話は続きます。「スマホを使っている限り、人は会話したり手紙を書いたりしなくなり、自分が発する言葉が相手にどう受け取られるのか気にしなくなってしまう。だからコミュニケーションツールとしてスマホに依存するのは危うい。」

今や社会現象となっている大ヒットアニメ「鬼滅の刃（きめつ　やいば）」の魅力について、メディアが多様に評していますが、にわかファンの私は主人公竈門炭治郎（かまどたんじろう）の人間愛にあると思っています。自分に関わる人々の個性を、それぞれ一つの人格として受け止めつつ、自らの言動によって相手に自分の存在を認めさせる。また、憎き鬼を滅殺する一方で慈悲の心を寄せ、相手に過ちを改心させる。この炭治郎の生き方は、相手の気持ちを掴み自分の言葉で思いを染み込ませていく究極のコミュニケーション能力があってこそ為せるものだと、映画で落涙した時に感じた次第でした。

４月途中に臨時休校になった頃から日記をつけるようになりました。といっても、その日にあった出来事を思い出して書き留めるだけです。しかしながら非日常化した日々に追われ、自分を見失いそうになっていた頃は、その日何があったのかを思い出すことさえ難儀しました。でも当日書いた自分の言葉を今読み返してみると、拙い文字から自分が周りの人々にどう関わりどう対していたのかが何となく蘇ってきます。

冒頭で紹介した研修会の講師は、「自分で見聞したものを自分の中でまとめ、本当に自分が理解しているかを確認する。この『自己内対話』があって初めて他者との対話が可能になる。」として、「ネット上の『書き込み』で憂さ晴らしはできるかもしれないが、他者からするとたまったものではないし、自己を大切にしていないという意味で、やがては自分自身を傷つけることにもなる。毎日、日記やノートをコツコツ書くことから『自己内対話』は可能になる。」と指摘しました。

北高の児等は、「朝の読書」で目にする文字や授業中にノートに書く言葉が、自分のものとして活用することができるようになって、本当の知識を会得していくのだと思います。君たちが、相手の言葉に注意深く耳を傾けるとともに、自分の言葉を相手がどう感じるのか気を配る「分かり合えるコミュニケーション」を、これからも大切にしてくれることを願っています。

To be Well Balanced
～両道顕揚～ 歴史を創る使命観に生きる

防災避難訓練

生徒指導部　下釜信浩

１０月２７日（火）に長崎北消防署員の指導のもと、防災避難訓練を実施しました。今回は地震速報訓練、地震発生からの出火を想定した避難訓練を行いました。地震速報の放送が流れると、生徒は頭部を守るため机の下に身を隠し、その後避難の放送が流れると安全にかつ迅速に経路を通り、グラウンドに避難をしました。グラウンドでは、北消防署員の方から、火災時の行動（消火・通報・避難）や災害時の身を守る原則などの防災講話をしていただきました。さらに、水消火器を利用した消火器操作体験も実施しました。この訓練から学んだことを日常生活の中で活かしていこうと思います。

薬物乱用防止教育講演会

生徒指導部　平田　愛子

11月17日（火）に学校薬剤師の七嶋和孝先生より、オンラインにて薬物乱用防止教育講演をしていただきました。今回のテーマは、「ＮＯ！といえる勇気を持とう」でした。薬物の恐ろしさや薬物が及ぼす社会的影響、薬物から自分を守るための方法、世界の現状などについてです。講演中、先生から「友達が薬物をしていたらどうしますか」などのお題が出され、各クラスのグループでも自分のこととしてとらえ、活発な意見交換をおこなっていました。今回の講話で学んだことを胸に、生徒１人１人が自分の未来、大切な人の未来をしっかりと守っていってほしいと思います。

～ 部活動・大会等の結果報告 ～

＜射撃部＞
◎長崎県高校新人体育大会
■男子総合　優勝
・ＡＲ男子団体　準優勝
・ＢＲ男子団体　優勝
・ＢＲ男子個人　優勝　石丸航太郎
・ＢＰ男子個人　第３位　古瀬　裕智
■女子総合　準優勝
・ＡＲ女子団体　準優勝
・ＡＲ女子個人　第2位　太田　真衣
・ＢＲ女子団体　準優勝

＜弓道部＞
◎長崎県高校新人体育大会
・男子個人　第2位　小谷　優海

＜ラグビー部＞
◎第１００回全国高校ラグビーフットボール大会　第３位

＜バレーボール部男子＞
◎長崎地区高校新人体育大会　準優勝

＜バドミントン部男子＞
◎長崎県高校新人体育大会　団体ベスト8

＜競技かるた部＞
◎長崎県高校総合文化祭（百人一首かるた部門）
・第１９回長崎県高等学校百人一首かるた競技県大会　準優勝

＜写真部＞
◎長崎県高校総合文化祭
・第１６回長崎県写真展　　最優秀賞　筒井　涼介

＜理科部＞
◎第４４回全国高等学校総合文化祭
・自然科学部門　研究発表（生物）　文化連盟賞
・自然科学部門　研究発表（化学）　文化連盟賞

＜学芸部＞
◎第４４回全国高等学校総合文化祭
・演劇部門　文化連盟賞
◎長崎県高等学校総合文化祭
・演劇部門県南地区大会　最優秀賞、創作脚本賞

＜放送部＞
◎長崎県高校総合文化祭
第４２回九州放送コンテスト県南地区大会
・アナウンス部門　優秀賞　渡邊　紗羽

＜美術部＞
◎長崎県高校総合文化祭（美術部門）
・優秀賞　中田　遥夏
・優秀賞　三好　夕